

いわき民報

発行所 平市田町48 電話361 1222
いわき民報社
編集兼印刷 田原 登

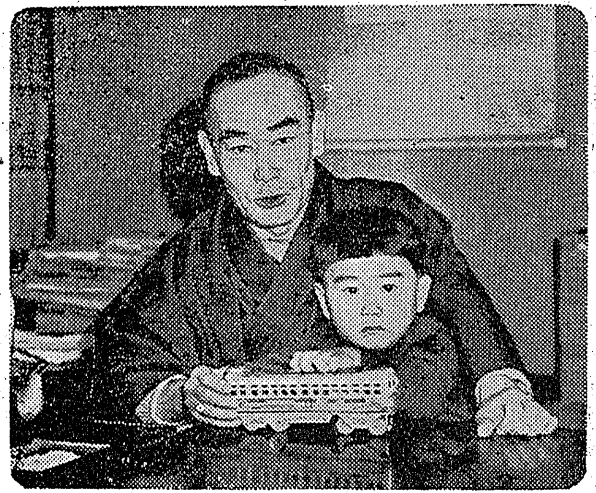


関内委員長と新春対談

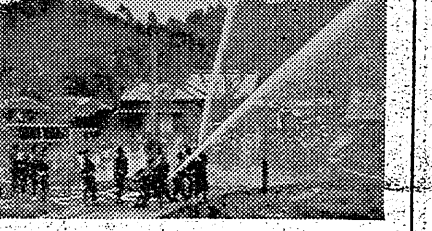
野沢 此処は日本の経済の現況に
の保有ドルが増える一方で国内から
原材料も輸入出来ず、関内の産
業が不振に陥るという悪循環に成
つてゐる。此処に経済危機の原因
がある。

緊縮豫算で 経済危局打開 行政改革も暫定措置

野沢 緊縮不振の原因は
関内 結局原料も資金も高い
ため、生産品はマートン高と
なり、西ドイツ、イタリー、イギ
リスなどの製品と大打出来ない
東洋の有力市場は閉ざされ放
題だ、これと対抗するためにはど
うしても出血を免れず、政府
の負担が加重されることになる。
野沢 緊縮不振の原因は、
野沢 緊縮不振の原因は、
野沢 緊縮不振の原因は、



孫を抱いた関内運輸委員長



新鋭ポンプ
披露式舉行
植田の出初式

不信任決議の反響

野沢 不信任決議は強硬派の
大綱副議長の人柄を疑はる市面
目を見失つたものから、従つて
不信任決議に賛成した議員も
唯七人、鈴木次郎副市長は、
責任を押しつけないで、市民の
手助けを要する、事実、行政
本部の職員、短時間の間、各
内容が明らかになり、従つて、
野沢 不信任決議は、市会の前日
平市の二つに分れた。植田の統一
問題で植田派、市財政委員会
会頭として私も出席した、その際
植田、鈴木両氏が植田君は料理
屋も平の保守も二つに分れてい
る、植田君は植田君の意向を
かたがた言つて、植田君は主張
して、植田君は主張して、

笑われる市會

野沢 不信任決議は強硬派の
大綱副議長の人柄を疑はる市面
目を見失つたものから、従つて
不信任決議に賛成した議員も
唯七人、鈴木次郎副市長は、
責任を押しつけないで、市民の
手助けを要する、事実、行政
本部の職員、短時間の間、各
内容が明らかになり、従つて、
野沢 不信任決議は、市会の前日
平市の二つに分れた。植田の統一
問題で植田派、市財政委員会
会頭として私も出席した、その際
植田、鈴木両氏が植田君は料理
屋も平の保守も二つに分れてい
る、植田君は植田君の意向を
かたがた言つて、植田君は主張
して、植田君は主張して、

商友會新年宴會通知

恒例の新年宴會を左記の通り開きますから会員多数を
そいあいの上御参加下さい。御案内申上げます。
日時 昭和二十九年一月七日(水曜日)午後六時
(時間厳守六時三十分開始)
会場 平市三田小路 味郷(電話七三六)
会費 五百円
昭和二十九年一月 平商業高等學校商友會
会長 宮川義一
〇平商業高等學校の皆さまので出欠の御連絡を下記
〇いわき民報社に電話(二三三)まで

住宅の整地着工

本市では四百二十五万
で吹谷地内千坪の公営住宅建設工
事を着工した。金成工務店、警城
土木建設が一月中旬完成引続き
工費千二百五十万円でアパート一棟八
戸木造住宅二十戸の建築を着工す
る。完成は三月二十日

野崎満藏氏談

その吉の極の極が、昭和二十日
の市会では、選挙権行使の平
馬はかりの集り、断じなりの
地、好んで流石を述べた、あんな
行かない(平市議会議事録)

英語聖書研究會

〇講師 マリー・カプリエル・グロロ神父
〇場所 平市東町二五五カトリック教会
〇日時 毎週火曜 木曜 夕七時より(一時間一時間
三十分)
〇受講料 月 五百円
〇一月十二日を行います。申込者は週中に教会まで
氏名をお届け下さい。少くとも五日前は受講時間があり
ます。

1954年の 御旅行のプランは 快適な ロマンスカーを!

初詣り 修學旅行
レクリエーション
商店會の御招待
名所舊跡の觀光にゼヒ!!

常磐交通自動車株式會社

本社 平驛前電343 322

平市五丁目 諸橋合名會社

電話 九、九九、九九九
六五一、一三九
六三一、九〇一

堀江工業株式會社

取締役社長 長谷川常吉
平市才植小路一
電話五二九三五

